

新春のごあいさつ



蒲郡市長
鈴木 寿明

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日ごろから市政に対するご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

私の市政運営の原点であります「蒲郡市民憲章」が昭和47年11月3日に制定されてから50周年を迎えました。本市の市民憲章は、日々の生活で重要な「ひとづくり」「いえづくり」「まちづくり」を中心に、誰にでも分かりやすく、覚えやすい、そして本市の特色を表した「三つの誓い」にまとめられ、市民の皆様にも長きにわたり親しまれているものがございます。今後も引き続き、市民憲章について、市民の皆様とともに一層の理解と実践を深め、本市の将来の発展に向け、「みんなの力でまちづくり」を目指してまいります。

新型コロナウイルスの影響で中止等が続いておりました各種イベントは、関係者の皆様のご尽力によりまして、感染対策を徹底したうえで多くのイベントを実施することができました。蒲郡まつりは3年ぶりの夏開催となり、太平洋岸最大級の正三尺玉3発のほか、特大及び大スターマインは過去最大の10発を打ち上げ、全部で約5,000発の花火が蒲郡の夏の夜空を彩りました。花火の持つ力の素晴らしさを改めて感じながら、来場された皆様方に元気を与えられた花火大会になったと思っております。秋には、伝統ある三谷祭、くらふとフェア、深海魚まつり、全国ご当地うどんサミットなど多くのイベントを開催することができ、コロナ以前のにぎやかな様相に少しずつ戻ってきたのではないかと感じております。

また、本市出身で、長年にわたり宝塚歌劇団の月組男役トップスターとして活躍されました珠城りょうさんに、蒲郡市観光大使を委嘱させていただきました。新たなステージでの今後のご活躍を大いに期待する次第でございます。

そして、サーキュラーシティを目指していくため、今後の指針となるビジョンを「つながる 交わる 広がる サーキュラーシティ蒲郡」と掲げ、重点分野として「教育」「消費」「健康」「食」「観光」「交通」「ものづくり」の7つの分野を設定しました。今後もサーキュラーエコノミーをまちづくりに組み込み、本市に関わるすべての人々がウェルビーイング（希望と幸せ）を実感し、このまちを誇りに思えるよう、次世代へつなぐ道標としてサーキュラーシティを創り上げたいと考えております。

最後になりますが、今年1年が皆様にとりまして、輝かしい年となりますことを祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。